

すどう たつき

ぼくはエジソンという本を読みました。この本を選んだのは、この本が未来へつながる本だと思っただけです。この本は、エジソンが主人公の物語です。エジソンは、発明好きな人です。主な発明品は、電話、電球、映画のフィルムなど今の私達の生活になくてはならないものを作り上げました。成功するまでには、数々の失敗やざせつをくり返し、また新たな発明に挑戦し続けました。ぼくがこの本を読んで、一番心に残ったところは、エジ

ソンがちく音機を発明したところです。ちく音機とは、人が話した言葉を録音できる機械です。もし、ぼくがエジソンと同じような立場だったらと考えると、一度の失敗ですぐあきらめてしまったり、たれかのためにものを発明しようとはしなかったと思います。エジソンが発明した電球は、どんな材料を使っても光らなかつたけれどあきらめないで挑戦を続けて、最終的にはもめん糸で安定しやすい光を生み出すことが出来てニ

しヨークで、人々の生活に役だつた。また、
エンジンにはマイブリッジという写真家が撮影
した競走馬の連続写真を見て、それをもう一
度動かすことは出来ないか、これをヒントに
して撮影機と写真紙を發明しました。研究所
の庭に世界初の映画ぐしゃみの記録機がたん
じようしました。ちく電池を使った電気自動
車も研究していたそうです。現在私達が地球
環境に力を入れている電気自動車にも大変役
に立っていると思います。トーマス・アルバ

・エンジン。彼は最高の發明家をめざし、あ
きらめずまた新たな發明に挑戦し続けたので
す。百十七年前からすでにエンジンが發明を
はじめていた事を知り不思議な思ひになりま
した。
ほくはこの本から、天才とは九十九パーセン
トの汗と一パーセントのひらめきからなるこ
うのことを学びました。これから、何ごとに
も、あきらめないで、失敗をおそれず挑戦し
つづけることが大切だと思ひました。

「はるかなるアフガニスタン」

海蔵小学校
五年 西村望花

「遠いところにいるあなたが、まさにこの使せんを持っていると考えると、また、あなたが読んでいる文面を同じ太陽が照らしていると思うとうれしくなります。」

これはこの本に登場しているサディードの手紙の文章です。私はこの言葉にもものすごく共感を感じました。

この本のストーリーは、ある男の子サディードが、妹アミーラの文通を手伝う事から二人の間につながりが生まれていきます。アミ

ーラの文通相手は、はるか遠くアフリカに住んでいる女の子アビーです。しかし、国と国との関係で文通が終わりになってしまうのです。それでも、二人はおたがいを思いつづけます。

私はこの物語を読み、せつないなあ、と最初に感じました。そして、続いていた事が終わるといふ事はとてもさみしい事です。

でも読んでいるうちに、文通は終わってしまっても二人のつながりは一生変わらないのかもしれないと思いました。

わけは、二人が文通していた事実は絶対に
変わらないと思っただからです。

私は今、二人ほど遠くはなれてはいないけ
れど、神奈川県との友達と文通をしています。

この感想文の最初の言葉は私がものすごく
共感しました。二人は国と国の関係で文通を
やめさせられますが、それはおかしい事だと
思います。この本は昔の話です。だから「
戦争」というとても悲しい出来事があったの
は知っています。でもそのために二人が文通
をやめさせられるというのはやっぱりおかし
い事なんじゃないかな」と私は思います。

私は、手紙を読むのが好きです。読んで書
くぞいという気持ちになります。だから文通
は続くのかなと思います。

私はこの本を読んで、手紙の大切さを知り
、遠くはなれててもつながりがあれば大丈夫
と学びました。私は今の文通相手といっほ
い文通し、大人になる前に外国の人と文通して
みたいかな、と思います。

かんばれば出来る

五年二組

原口

未来みき

私は「アルプスの救助犬バリー」という本を読みました。この本を選んだのは、この本がDVDにもなつたマジックツリーハウスの本だつたからです。この本はジャックとアニーが主人公の物語です。ジャックとアニーは、こおつてしまつた友達を助けるために、アルプスに行き、黄色の花をさがします。

私がこの本を読んで、気に入つた文章は、小さい犬だつて、かんばれば出来る」という文章です。私はこの文章を読んで、「小さくても、一生けん命かんばれば、どんなことだつて、のりこえられる」と思いました。次に私が感動したところは、アニーが小さい犬（バリー）に、おこらずに、やさしく接して、なかよくしつけをしていたところです。私はこの場面を見て、自分には絶対できないと思いましたが、もし私がしつけをしていても、

おこらぐには、たぶんできないんだらうなと思っ
たからです。それと、アニもすごいと思
いました。アニは、犬だけではなく、他
の動物とも、会っ、てすぐなかよくなれるから
です。私がアニだっ、たら、動物と仲よくな
れずに、動物がこわくて、にがて行っ、てしま
うと思、いました。その一方、ジャツワは、あ
まり動物が好きではなく、アニが動物と遊
んでいても、動物とは遊ばずに、本を讀んで
います。ジャツワは、見た物を、すぐにノ
トに書き写すくせがあります。けれど、アニ
は、そんな兄が大好きで、いつもいっ、しょ
にいます。二人は、すごく仲のいいきょうだ
いです。

私はこの本から、「自分でも、かんばれば
、きっと何でも出来る」ということを学びま
した。これからは、「出来る事は一人でやり
、何事もかんばっ、てのりきっ、ていこうと思
い
ました。